

新天新地

ヨハネの黙示録二一章1〜8節

神が人と共に住み、人は神の民となる。神自ら人と共にいて、その神となり、目から涙をことごとく拭い去ってくださる。

もはや死もなく、悲しみも嘆きも痛みもない。(3、4)

新天新地と呼ばれる神の国が到来することが告げられます。神が創造された世界はその罪のゆえに汚されてしまいました。その天と地が新しく創造される時、それが「神が来るというのです。この新しい天と地はどのようなものなのか、それは「神が人と共に住み、人は神の民となる。神自ら人と共にいて」とあるように、神が私たちと共にいてくださるところです。主イエスが誕生される時、「その名はインマヌエルと呼ばれる」と御使いは告げました(マタイ13)。「神は私たちと共におられる」という意味の名です。そして主が天に帰られる直前、「私は世の終わりまで、いつもあなたがたと共にいる」(マタイ28)と約束されました。神の国とは、神が完全な形で私たち主を信じる者たちと共にいてくださるところです。主が共にいてくださることこそ、私たちにとって最高の祝福だからです。